

# 『バランスのとれた働き方—不均衡からの脱却』

(佐藤博樹・連合総研編 エイデル研究所)

---

## 連合総研設立 20 周年記念「勤労者短観」特別分析プロジェクト

### アドバイザー

佐藤 博樹 (東京大学社会科学研究所教授) 今田 幸子 (労働政策研究・研修機構特任研究員)

### 執筆者

佐藤 博樹 (東京大学社会科学研究所教授) 佐藤 香 (東京大学社会科学研究所准教授)

永井 暁子 (日本女子大学人間社会学部准教授) 前田 幸男 (東京大学社会科学研究所准教授)

岡田 恵子 (連合総研主任研究員) 川島 千裕 (連合総研主任研究員)

千葉登志雄 (連合総研主任研究員)

---

本プロジェクトは、2001 年から実施している「勤労者短観 (勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査)」6 年分のデータを再分析することを目的に設置された。

日本は戦後最長の景気回復を続けてきたが、ビジネス・パーソンの仕事と暮らしの「日常」は必ずしも「回復」の実感が得られるものとはなっていない。そして、彼ら・彼女らの多くが自らの仕事や暮らしに対してさまざまな不安や悩みを抱えている。

ビジネス・パーソンたちが抱えるこうした不安や悩みは個々に感じているものだけではなく、広く多くの人々が共通して抱えているものである。こうした共通の「不安」や「悩み」は彼ら・彼女らの仕事や生活のいたるところに生じている“不均衡 (インバランス)”に原因があると考えられる。

本書では、「勤労者短観」のデータを使って、のべ 10000 人のビジネス・パーソンの仕事と暮らしの実情とその中にある“不均衡”を解明し、ワーク・ライフ・インバランスを解消するための対応策を提起する。

---

## 目次

はじめに 都会で働くビジネス・パーソンの特徴—正社員・非正社員の比較

第 1 章 必要な人にセーフティネットを一消えない雇用不安

第 2 章 「過労死予備軍」と「賃金不払い残業」—解消に向けて

第 3 章 働く女性の二極化—ビジネス・ウーマンの実像

第 4 章 男性の家事参加を進めるために—家事を意味するもの

第 5 章 ビジネス・パーソンは景気に敏感—格差拡大

第 6 章 権利理解と労働組合—組合効果のアピールを

第 7 章 劇場政治と勤労者—問われるこれからの選択

おわりに ワーク・ライフ・インバランスの解消を